

## 北海道手をつなぐ育成会

## げっぼう

## 事業所運営研修会(報告)

## 報酬改定と今後の展望

57名が参加(会場 31名、オンライン 26名)

3月16日(土)札幌かでの2・7において、北海道手をつなぐ育成会事業所協議会の研修会が開催されました。

本研修会は、令和6年4月より施行される障害福祉サービスの報酬改定により、利用者の生活や事業所運営にどのような変化がもたらされ、私たちはどのような準備をするべきかを共有することを目的としたものです。基調報告は、全国手をつなぐ事業所協議会理事長の松崎伸一氏。話題提供は、生活介護事業所「ほっぶ」を運営する「とむての森」事務局長 弓山祐子氏(北見市)、就労継続支援B型事業所「むろらんワークセンター岬」管理者 鈴木大輔氏(室蘭市)に登壇いただきました。

## 横のつながり、連携を

松崎氏からは、障害福祉サービス全体が人口減少と少子高齢化という現実と直面する中、今回の報酬改定を受けて、事業をいかに継続していくかという課題が突き付けられていること、小規模で運営する事業者ほど厳しい未来が待っていることが説明されました。

今後は横のつながりや組織に属すること、事務の簡素化や情報の連携を図っていくことも必要だと提言されました。

続いて弓山



氏は、生活介護事業所の現状と4月以降の課題について触れられました。「ほっぶ」では、重度の方を中心に受け入れて事業を運営。障害の特性から集団行動は難しく、個別の対応が必要とされる場面が多いことから赤字の運営が続き、職員配置の加算を2.5:1(利用者・職員配置比率)から2:1にする必要がある。また、今回の報酬改定で、基本報酬が日割から利用時間毎へと変更され、短時間利用の報酬は減少し、さらに苦しい状況が見込まれる。法人としては多角的に事業運営すること、何とかが事業は継続できているが、利用者の特性に寄り添い支援の質を上げたくてもそれが難しいことが吐露されました。

れました。

就労継続B型事業を運営する鈴木氏より、今回の改定で平均工賃月額の設定方法が変わることや、さらに手厚い職員配置区分の創設などが運営改善への追い風となることが紹介されました。

報酬改定に振り回されず、

本人中心に

3名のお話の後は、参加者を交えての情報交換をしました。職員不足や利用者確保への課題を抱え、加算は増えても事務がより煩雑になるなど不安の声が多くを占めました。最後に松



崎理事長からは「報酬改定に振り回されるのはもうやめましょう!」という言葉があり、今こそ本人を中心に置いた議論を忘れず、魅力のある、選ばれた事業所運営を目指して、初心に立ち返るべきと強く訴えられ、研修会が締めくくられました。

(北海道手をつなぐ事業所協議会

副会長 門内 勇治)

情勢と現状を学び・語り、  
思いが一つに



松崎氏の講演では、報酬改定での変化への対応、各事業所が取り組むべき事の道筋、どうしてこのような改定に至ったのか、日本の人口減少でこれから想定される事、改めて働くとはどういう事なのか、今必要な事等をとってもわかりやすく話して頂きました。

続いて、北見「とむての森」弓山祐子氏から生活介護事業が現状赤字で、さらに報酬改定でどうなるか読めない部分が多い。しかし北見には重度の障がい者を支援する事業所が少なく、利用してくれる方のためにも継続していこうという決意が語られました。

「むろらんワークセンター岬」鈴木大輔氏からは、B型事業所で加算を得るためには、行事も仕事も利用者のニーズを大切に、利用者がやりたい仕事をやれるように工夫し、環境を整えることが必要であること、自分と思いをともにしてくれるスタッフへの感謝等が大切であることが話されました。

私は事業所の運営には携わっていないのですが、抱える悩みを大いに理解することができました。また、印象的だったのは講演の中での糸賀一雄氏の「『この子らを世の光に』で『この子らに世の光を』ではない」という

言葉で、ノーマライゼーションを実現するための重要な考え方と感じました。講演では松崎氏が報酬改定に気を取られ過ぎないようにというニュアンスでしたが、話題提供・質疑応答での活発な議論を経て、会場のボルテージも上がり、「現状と合わない事についてはしっかりと国に伝えていこう。闘いましょう！」と、まとまった事が印象的でした。  
(とった共同作業所支援員 池原 恒介)

速報 函館大会

9月は函館に集みましょう！

映画上映と監督の講演

『筆子・その愛―天使のピアノ―』

9月28日(土)に開催される、函館大会の準備が進められ、例年の記念講演を「映画上映と監督による講演」という企画とすることに決まりました。

上映する映画は山田火砂子監督の「筆子・その愛―天使のピアノ―」。障がい児教育という考えも実践もなかった明治時代に、日本で初めての知的障がい者施設「滝乃川学園」を創設した夫の亮一とともに、日本の障がい児教育と障がい者福祉に尽力した石井筆子の生涯を描いた作品です。

山田監督は、重度の知的障がいの娘の母であり、日本最高齢の女性映画監督です。この映画の筆子も、同じく知的障がいの娘の母でした。監督は筆子の生きざまに深い共感と敬意をもって製作したのではないのでしょうか。

キャスト陣も主演の常盤貴子さんをはじめ、そうそうたるメンバーで見ごたえがあります。また、公募で集まった知的障がいのある子どもたちが、プロの子役たちとともに、精一杯の演技で映画を盛り立てています。2時間という上映時間はあっという間で、終始スクリーンにくぎ付けになることと思います。



山田監督は、新作「わたしのあささん―天使の詩―」を発表、4月に封切られ、各地で話題を呼んでいます。函館でも上映会の計画が進行中です。

映画上映後、山田監督に20分の講演をしていただきます。映画製作への熱い思いや、障がい者の母として思い、いまの日本社会のありようへの思いなど、幅広いお話を聞かせていただけそうです。

5年ぶりの懇親会も

本人大会の準備も実行委員会を2回開催し、着々と準備が進められています。

大会終了後は、コロナ禍で開催できなかった懇親会を5年ぶりに行います。9月は全道各地から、函館の地に集って交流を深めましょう。

いくせいかい カレンダー 2025

# アート作品大募集!!

「北海道手をつなぐ育成会」では、今年も当事者の皆さんの作品発表の場の一つとして、「いくせいかい カレンダー 2025」の制作に取り組みます。そこで、カレンダーに掲載する「アート作品」を下記の要領で募集します。たくさんの方々のご応募を心からお待ちしております!!

応募締切  
6/28(金)



自分の描いた絵が、  
2025年のカレンダーになるよ。  
壁かけタイプか卓上タイプの  
どちらかに載るんだ♪



入選した人には、絵が掲載された  
カレンダーと缶バッチがプレゼント  
されるよ。どんどん申し込んでね!!

●応募対象者 : 知的・発達障がい児者ご本人 (育成会並びに関係事業所、教育機関所属)

●募集作品 : 平面作品(絵画、イラスト、版画など)

お一人様、1点(未発表作品)

●作品規格 : 葉書、A5~A3版までの大きさ

※既製のキャラクターはカレンダーに掲載できません!!

※裏面が透ける紙や地色がついた紙、薄い色えんぴつや

蛍光ペンは印刷再現ができないので使用しないようにお願いします。

●応募締切 : 2024年6月28日(金)

●作品選抜 : 当会にて応募作品を審査し、掲載作品を選抜します。

※入選された作品の返却には、お時間をいただく場合があります。

① カレンダーは、カラー印刷で「壁掛けカレンダー」と「卓上カレンダー」の2種類を制作します。

② カレンダーの配布(販売)については、後日改めてご案内します。

③ 作品の応募は、「応募用紙」に必要事項を記載し、作品と併せて裏面にある送付先にお送り下さい。

(郵送の場合、送料は応募者負担となります)

応募用紙は、裏面をお使いいただくか、道育成会HPまたは、各地区育成会へお問い合わせください。

# 「いくせいかい カレンダー 2025」

## 《アート作品 応募用紙》

2024年 月 日

応募内容			
ふりがな		性別	年齢
応募者氏名		男・女	歳
(団体の場合) グループ名			
所属先			
作品タイトル			
作品への コメント			
種類 (○印を)	・絵画 ・イラスト ・版画 ・その他(具体的に )	材料	
返却方法 (○印を)			
返却方法	・郵送(送料:道育成会負担) ・引き取り ・その他(具体的に )		
返却先住所	〒 -		
返却先氏名			
電話		(日中繋がる連絡先)	
備考 (連絡事項)			

**【応募締切 6月28日(金)】**

〈送付先・問合せ先〉 北海道手をつなぐ育成会

住所 : 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4F

電話 : 011-251-0855 / FAX : 011-251-0804

電子メール : doikusei@air.ocn.ne.jp

# 私たち育成会、ただ今、奮闘中!

## 地区育成会の活動紹介 その10

### みんな大好き、カレーライスづくり

### 料理教室を開催



新年度の始めに各種事業への募集案内が届きます。それは毎年分かつていることなので、集まりのある時は次のアイデアを募集してきます。今回は、面白いアイデアが出なくて「困ったときの料理教室」的な考え方で決まりました。メニューはみんなが大好きなカレーライスにしました。「切る」「炒める」「煮る」などの基本作業があり、絶対に失敗がないと言われています。

会場は、市の施設です。講師席のほか、料理台が6か所あり参加人数にも合っています。調理器具から食器まですべて揃っていて利用料も安く使い勝手の良い施設です。班分けは、親子がいると

きは一緒の班にしました。刃物や火を使うので、落ちついてできるのではないかと思っただけです。

皆さん助け合ったり、教え合ったりしながら、慎重に怪我無く作業をして下さいました。出来映えは、もちろん失敗はなしということにします。この経験を通して少しでも料理に親しんでいただけなことでしょう。

このような事業を実施することが会の活性化にも役立っています。これからも積極的に各種事業に取り組んでいきたいと思えます。(土別手をつなぐ育成会 事務局長 広瀬 利博)



### ご案内

札幌市手をつなぐ育成会 特別研修会

### 意思決定支援

「その思いは誰の意思?」

講師 又村 あおい 氏

(全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事兼事務局長)

日時.. 2024年6月8日(土) 10時~12時  
会場.. カナモトホール(札幌市民ホール)

2階 第2会議室

定員.. 会場 65名・オンライン 50名

※後日、YouTubeでの期間限定配信があります。

お問合せ・申し込み

札幌市育成会事務局 (平日9時~17時)

電話 011-738-2221

メール moushikomi@sapporo-ikuseikai.or.jp

FAX 011-738-2228

申込フォーム



本人の思い、気持ちを~だろ~と思込んでいませんか?

## 特別研修会

### 意思決定支援

参加無料 ~その思いは誰の意思?~

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会  
常務理事兼事務局長 又村 あおい 氏

日時 2024年 6月8日 [土]  
10:00~12:00

会場 カナモトホール (札幌市民ホール)  
2階 第2会議室  
北海道札幌市中央区北1条西1丁目  
地下鉄大通駅にて下車 31番出口すぐ

定員 会場 65名・ZOOM 50名  
※先着順・定員になり次第受付を終了させていただきます

【主催】 一般社団法人 札幌市手をつなぐ育成会 095フォーム  
【お問合せ】 011-738-2221(育成会事務局) samoushikomi@sapporo-ikuseikai.or.jp 011-738-2228

### 5月の予定

20日(月) 道育成会・道サポート協会総会  
14日(火)・15日(水) ナイスハートフェアinアリオ

札幌

知的障がい児者・自閉症児者の  
生サポは **家族の安心を支えます**

発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

- 日常生活に関する相談支援
  - 就労に関する相談支援
  - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、  
知的障がい児者、自閉症児者のための  
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…  
全国で約15.5万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2023年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

**生活サポート総合補償制度**

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、  
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102  
レジディア大通公園2 F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かねてる2・7 4階  
北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2024年1月現在の内容です。(D-007025 2025-03)

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

知的障がい・  
発達障がい、  
ダウン症、  
てんかんの  
ある方、  
ご家族に

病気やケガが絶えない…  
成人病や生活習慣病に備えたい…  
他人の物を壊してしまった…  
虐待・雇用現場での差別など  
人に相談しにくい悩みがある…

このようにお困り事に  
心当たりがある方に…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの  
**あんしん保険**  
少額短期健康総合保険(無告知型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの  
**こども傷害保険**  
特別支援補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、  
弁護士がサポート

弁護士が  
全面的に  
サポート

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T06633】

0120-322-150

平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

URL: http://www.z-kyosai.com/

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階

TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の  
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を  
目指しています。体力のある事業所も体力のない  
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を  
待っています。

**北海道手をつなぐ育成会  
事業所協議会**

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かねてる2・7(4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

特定非営利活動法人 **留萌ふれあいの家**

〒077-0038 留萌市寿町3丁目13番の1 TEL・FAX (0164)42-4390

Eメール freinoie4390@wine.plala.or.jp

★利用定員 20名

★生活介護 定員6名 ★就労継続B 定員14名

★主な作業

☆公共施設の清掃業務

☆廃油石鹸づくり

☆農作業

主にトマト、ミニト

マトを栽培

☆切り干し大根加工作業

☆廃品整理 他

